

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・部屋によっては人数に対して少し狭い気がする。 ・一つの部屋に子どもが集まりすぎて危険だと感じることもある。 ・場所とタイミングによっては、人数に対して部屋がせまいと感ずることがある。 ・廊下、ホールは広いが、各クラスの部屋が狭く感じる。 ・子どもがしたい遊びを絵カードで知らせ、選べるようにしている様子がある。 ・教室、ホール、園庭など、スペースは十分だと思う。 ・人数の振り分けなどうまくされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日のお子様の人数や時間帯によっては十分な活動スペースが確保できない場合もあるため、活動内容やグループ分けなどで調整しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	14	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・バタバタしているように見える時がある。 ・職員が足りないと思う。 ・子どもの数と職員数が合っていないのか、年々ケガをさせられることが多くなってきた。 ・時々、手が足りていないと感じることがある。 ・先生の人数が足りず、一人で8人くらいと関わっているのを見かける。事故に繋がりがりで怖い。 ・正直、子の特性によるかたよりがあった場合、まだ職員数が足りないと思う場面あり。 ・手のかかる子を見ている気があり、職員の人数が足りていないように感じる。 ・専門性は経験年数によって差がある。 ・他児からのケガが多く、目が行き届いていない、人手不足かなと思うことがある。 ・時折、人手がたりずバタバタしている様子があるため、人数を増やしてほしい。 ・どの先生が、どの資格(保育士・看護師)を持っているのか、よく分かりません。 ・法律上は適切だとは思いますが、障害の程度を考えるともう少しおられた方が安心。 ・配置数は圧倒的に少ないと感じる。子ども達が遊んでいるときの見守りなど、グループ内で協力し合っ職員の方が来てくださるのはありがたいが、クラス担任の人数を増やしてほしい。クラスの先生でないといけない業務(たとえば、給食。食事にケアが必要な子も多く、おかわりなど含めて先生方がかなり時間に追われている。親子通園のとき、自分の子どもがくだものおかわりをしたかったよすが、たまたま先生方が他の業務に追われていらっしや、おかわりの席に誰もいらっしやらず、子どもがそのまま下膳してしまったことがある)が大変忙しそう。他にも思うところはあるが、そのほとんどがクラス担任の人数不足に起因すると感じている。 ・発達により手がかかるので大変であろうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準上は問題はありません、毎年実施される県の監査もクリアしていますが、お子様の特性や集団への適応状況、その日の精神状態等により、一対一で対応しなければいけないことも多いため、手薄になる状況が発生しています。出来るだけ、お子様と職員の数に偏りがないよう、気を付けています。 ・児童発達支援の職員は、保育士、児童指導員、看護師、栄養士等、様々な資格を持った職員が働いており、ほとんどの者が資格取得者です。年度初めにお配りする職員紹介表やホールに設置してある紹介ボードをご確認ください。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	52			1	<ul style="list-style-type: none"> ・床が尿で汚れた時、私の見間違いかも知れないが、バスタオルで拭き取っただけだったように見えたので、どのように対応されているのか気になった。 ・以前、クラスの床や机に前日のおやつのかげらが広範囲に落ちていたのが気になった。 ・床のゴミが少し気になる。 ・絵カードで一人ひとりに知らせる様子や給食時での配慮がある。 ・クラスや特性により、工夫されていると思う。 ・子どもがシンボル等をもとに行動できている。 ・机やイスに1人1人顔写真が貼ってあり、本人に分かりやすくなっていて、活動空間に余計な物がないので、子供たちが混乱しない空間になっていると思う。 ・絵カードなど視覚的情報をして理解できるようにしている。 ・顔写真や色で子どもにも分かりやすくなっており、目で見て机の場所等がすぐ分かるので良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除は朝延長対応職員が行うようにしていますが、お子様の出席状況や放デイのお子様の受け入れ等によっては毎日できない場合もあります。今年度から掃除ロボットも活用していますが、稼働していない日もあるため、必ず毎日稼働させ、衛生に努めたいと思います。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40	12	1		<ul style="list-style-type: none"> ・トランポリンの下に誇りがたまっていたり、手洗い場が汚れている。 ・トイレにて紙オムツにはきかえる際、下がそのまま床なため、個別にマットなど清潔なものを敷いてもらえると衛生面で安心できる。 ・概ね良いが、床に落ちているものを子どもが拾って食べようとしていた。 ・心地よく過ごせている。 ・汚れていたらずぐに清潔にしてくれている。 ・教室内に手洗い場があり、手をふく紙もあり、良いと思う。 ・子どもの施設なので仕方ないが、砂埃が多い。 	
5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	49	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等も保護者にアンケートをした物をそのまま記載されている気がする。 ・個別性がある計画を立案してくださっている。 ・職員(先生)が客観的に分析してくれて話してくれるので助かる。 	
6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	47	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳がアプリになってから保護者への対応が手薄で、保護者の日々の不安感や子どもの様子(個人)を知らない事等がある。 ・されている。 ・園での生活の中で具体的な支援内容を提示してくれていると感じる。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	46	7			<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・職員に対し、子どもの人数が多すぎて、個別の課題に合わせた支援は難しそうに見える。 ・親の意向と職員の人数により難しいこともある。 ・限りある時間と人数で支援していただいている。 	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	40	10		3	<ul style="list-style-type: none"> ・集団なので難しいところもあるが、もう少し様々な活動が体験できると思う。 ・色々な療育を行っていただいているが、隔たりがある週もある。 ・1ヶ月のカリキュラムを見てる限り、色々とされているのが分かる。 ・毎日、ちがう活動で、子どもが楽しめる工夫がしてあって、すごいと思う。 ・工夫されている。 ・活動プログラムが沢山あり、工夫されていると思う。 	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		6	3	10	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、機会はなかった。 ・交流会は園であるのは行事予定では知っているがどのような活動をしているのか不明。 ・年に何回か設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇部フロンティア幼稚園の園児との交流日を3~4回/年、設けています。 ・イベント開催時は必ず当事業所の関係者のみの時間帯と一般の方との交流の時間帯を設け、交流の機会に繋げています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	45	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで通っていて、つい最近まで知らなかったことがあった。 ・給食費の値上がりは仕方ないが、家庭によっては倍になっており、極端すぎると思う。 ・イベントの際、ゲームに参加にお金をとるのをやめてほしい。 ・特に児童発達支援の利用日としてカウントされているときは、利用料とゲーム参加料の二重で支払っていることになり納得できない。実質、一般参加の人より高く払っており、イベント目的が利益追求に見える。 ・前に説明を受けたような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、入園説明会を設け、運営規定や重要事項説明書の説明を行っています。その他の細かい説明事項は「楽しい通園のために」に記載し、説明をしています。 ・イベント等のゲームには必ず景品をお渡しできるように準備しており、出来るだけ保護者のご負担にならないよう気を付けています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	50	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談での説明はある。 ・いつも丁寧に説明していただいている。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	33	12		8	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添う対応をさえることが少なくなり、提案のみが多く感じ、不安になることが増えた。 ・私自身が園に赴いて親子登園を出来ないのも、こういった内容はなかなか進めにくい状況を作ってしまった。 ・～のような対応をしたら良いなどのアドバイスがそれにあたるのか?知識不足のため、よく分からず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの研修会開催はしておりませんが、面談時や普段のお話の中でお子様への対応等についてお話しています。研修会の開催は今後の課題です。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	42	9	2		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども全体での姿を知らせるのみの連絡(ルクミーにより)になり、課題や今の様子を具体的に知ることができない。 ・もう少し、先生方と日頃の様子などを話す機会があると嬉しい。 ・担任の先生が送迎上、あえないときもあるため、連絡(ルクミー)のみでしか話せない。 ・ルクミーになり、子の細かい情報が得にくくなってしまったようにも思う。 ・定期の面談でじっくりお話させていただいているが、連絡帳がアプリになってから日々の情報交換が難しくなったと感じる。 ・連絡帳がアプリに変更され、個人の具体的な内容が減った。 ・よく相談にのってもらって、アドバイスをもらっている。 ・連絡帳にて日々の様子を伝達し合っている。 ・毎日、ルクミーで1日のことを知れるし、面談のときは、より細かく園での状況を知れるからありがたい。 ・ルクミーで文言や写真が入ってたりするので、園での様子が分かる。 ・お迎え時にその日の様子を話してくださったり、アプリでも知る事が出来るので安心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前利用していた連絡帳に比べると、日々の様子が分かりにくくなったとのご意見を多くいただいておりませんが、アプリを使用し、連絡帳の記入に掛かっていた時間を、お子様との関わりの時間や見守り体制の強化に繋がっていると思います。 ・育児の不安や気になること等は面談やお電話でも対応が可能のため、遠慮なくご連絡いただけると幸いです。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談は前年度より増えているが、育児の不安を軽くする内容までは話せない。 ・年に何回か面談あり。 ・保護者の思いを傾聴してくれるが、具体的な案の提案が少なく、保護者が考えないといけない。 ・面談で丁寧に伝えて頂けている。 ・毎月、個別の面談が必要かどうか確認してくれるのでありがたい。 ・個別の面談では、十分な時間をとっていただき、ありがたく思っている。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
等	15 父母の会の活動の支援 や、保護者会等の開催等 により保護者同士の連携 が支援されているか	35	11	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会がないため、保護者同士の交流は少なくなっている。 ・あすカフェやフーフカフェの参加やクラス懇談会等で話す機会は増えたと思う。 ・色々開催されているのは知っているが、時間が合わず、殆ど参加出来ていない。 ・あまり参加できておらず、申し訳ありません。 ・チラシが入っていたりするので、日程が合えば参加したい。 ・会自体に参加はほぼ出来ていないが、毎月何かしらの会があり、支援していただいていると思う。 	
	16 子どもや保護者からの相談 や申入れについて、対応の体制 が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明 され、相談や申入れをした際 に迅速かつ適切に対応されて いるか	44	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の申入れを、職員の仕事内容が多かったり、人数配置等ですぐの対応が難しくなっている気がする。 ・今まで、こちらから申し入れたことはない。 ・もう少し柔軟に、臨機応変に対応していただけたらと思うことがある。 ・こちらから相談があるという出来る限り早く面談の時間を設けてくれている。ありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の出勤状況や放デイの業務等で、すぐに対応できない場合もありますが、ご希望があれば出来るだけ早く面談日を設定するよう努めています。
	17 子どもや保護者との意思 の疎通や情報伝達のための 配慮がなされているか	43	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の知らせはルクミーで早くなったが、プリントの方が見やすかった。 ・ルクミーが始まり、日々の様子が分からなくなった。家庭の様子を伝えてもほぼ反応がなく、伝わっているのか実感がもてない。 ・ルクミーで個別でメッセージをもらえい、やりとりしている。 ・ルクミーで写真や文を送っていただいているので、園での息子の様子が分かる。 ・定期的に面談が必要か書面で聞いてくれる。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
18	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	40	7	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクミーの報告が「みんなで～をした」など全体の報告内容なので、「～ができた」とか「～の変化があった」など、本人の様子を教えてください。お忙しいとは思いますが。 ・昨年度の自己評価の結果が常に分かりやすい場所に示されていない。今回の結果はルクミーで知らせてほしい。またこのアンケートは提出しやすくするため封筒や玄関に提出などにしてほしい。 ・「業務に関する自己評価の結果」とは？これはよく分からないが、行事予定等のお知らせはされている。 ・行事案内がシーズン毎であるので参加出来る時はさせてもらっている。会報も毎月見やすく色鮮やかなチラシを見せていただいている。 ・毎月配布される予定表で把握できたり、インスタはやってないが、そちらでも分かりやすくされているんだろうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、自己評価結果はHPにて公表する義務があるため、最新のものをアップしています。今年度は3月31日までにアップする予定です。また紙ベースで見たい方には写しをお渡ししています。 	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	47	4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでの一般の方が入られる際、子どもの写真(下駄箱等)そのままだった時等がある。 ・どこまでを個人情報とするかだが、判断が難しい。 ・注意されていると思う。 	
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	8	2	19	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等ははされているとは思いますが宇賀、保護者への説明はない。 ・まだ訓練に参加したことがない。 ・親がいない状態での緊急時の対応が心配であるのが正直な気持ち。 ・マニュアルがあるのか分からない。周知、説明はされていないのでは。 ・手洗い等、先生方の声かけがされていると思う。 ・園の玄関に入れば感染状況が分かるボードがあるが、お迎えに行かない日はどのくらいの感染状況(人数、ウイルスの種類)なのか分からなかった。12月はビクビクしていた。注意喚起はあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは整備しており、監査もクリアしています。大量の資料のため、各ご家庭に配布するのは困難なため、玄関先に設置し、いつでも見ていただけるようにします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	3	1	13	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ訓練に参加したことがない。 ・先生の指示に従って行動が難しい子やパニック状態になりやすい子がいるからこそ、児童発達支援の時間に訓練をして慣れさせてほしい。 ・園だよりには、毎月防災訓練の予定は組まれている(実際に何をしているかは不明)。 ・親子通園の際、参加した。 	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつし園(児童発達支援)保護者等数(児童数) 64人 回収数 53人 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	47	5		1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が子どものことを「単位」で話すのを聞いてショックだった。 ・行くまではゴネますが、行くと楽しく過ごさせてもらってます。 ・行きはしぶったりするときもあるけど、帰ってきたらいつも「楽しかった!」と話してくれる。 ・だと思う。楽しそうにバスに乗り込むので。 ・楽しみにしている。 ・通園日になると予定時刻より早く「行こう!」と言ったりして楽しみにしている。 	
	23 事業所の支援に満足しているか	45	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の課題への取り組みの様子(成長)など具体的に教えてほしい。 ・子どもへの支援が明らかに落とされていて残念。利益追求しているように見える。また施設に対し利用児の立場が弱すぎるように思う。 ・子どもの安全を守ってほしい。幼稚園、保育園の先生が運動会だけでなく、通常療育を見学できるようにしてほしい。 ・職員や児童の名前を覚えていない。職員の制服に名札やネーム刺繍とかは出来ないか。子どもは外来療育の時の名札は使えないか。安全ピン(針)が危険であれば養生テープに名前を書く→子どもの背中に貼る等はどうか。子どもが職員や他児童の名前を家庭でよく話すようになってくれたが、どの人の事を言っているのかよく分からなくて。教室の児童の顔写真も微妙に古くて顔が変わっているの。 ・「ん?」と思うこともあるが、子どもは楽しく通えていると思うので概ね満足している。 ・とてもよくしていただいている。 ・息子も少しずつ成長しているのがはっきり分かる。ありがとうございます。 ・限りある時間の中で良くしていただいていると思う。 	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		エリアを区切ったり、人数調整を行いながらケガやトラブルに繋がらないように配慮している	お子様の人数が増える長期休暇や時間帯は登園日数や時間帯を調整する必要がある
	2 職員の配置数は適切である	○		事前にお子様の人数や特性、相性などを考え、当日の職員配置を決めている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様の特性や理解度に合わせてカードや具体物などを使用し、スムーズな意思疎通や見通しのある生活に繋げている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		決められた掃除時間以外にも汚れが目立つ時や時間に余裕がある場合は綺麗にするようにしているお掃除ロボットの活用	お子様が毎日使用する遊戯室等は、お掃除ロボットを毎日稼働する
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		個別支援計画などを利用し、定期的な支援の振り返りを行っている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表や連絡帳、面談などを活用	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のHPや保護者への配布により、情報を共有している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師を迎え、専門的、基礎的知識の向上に繋がる研修を開催している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者への聞き取りや面談、日々のお子様との関わりの中で、情報を収集し、支援に繋げている	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			もう少し詳しく記入できるツールがないかを検討
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを基に、お子様の発達段階や特性に合わせた目標を選定し、お子様方が無理なく、ステップアップ出来るように配慮している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		インターネットや参考資料などを利用し、季節感やお子様の流行なども取り入れている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に当日の予定や行事を確認し、お子様の人数や特性、相性等を考慮し、職員配置等を決定している朝礼に参加できない職員用に連絡事項を記入するボードを活用している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		各クラスで活動内容やお子様の様子などを共有し、次回の活動に活かしている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は出来るだけICT化を進め、必要に応じて紙ベースで残している	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		発作等があるお子様は常に救急隊員や医療機関等と情報の共有を行い、対応している	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		同上	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		パーソナル手帳の推進や個別の支援計画書などを利用し、お子様への支援内容を詳しく伝えている	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修会を主催し、専門的知識の向上に繋げたり、支援センターのコンサルテーションを活用し、支援の充実を図っている	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の幼稚園児と交わる機会やイベントを定期的に企画し、交流を深めている	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子ども・子育て審議会、障害児を支えるネットワーク協議会、こども支援ネットワーク協議会、学校運営推進委員会など数多くの会議に参画している	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、面談等を利用し、保護者との共通理解を図っている	連絡帳のICT化により、メリット、デメリットがあるため、出来るだけデメリットを少なく出来るように努めたい
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者研修会を定期的を開催している	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名 うべつくし園(児童発達支援)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園説明会や個別に説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインを基に、5領域を意識したアセスメントと、お子様の特性や得意、不得意等に考慮した支援を検討している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳をICT化したため、面談の機会を増やしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ペアレント・メンターによる相談会や保護者同士が集うイベントの開催を行っている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者からの相談や申入れは内容によっては本部にも報告し、対応できるものは迅速に行っている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramや広報を定期的に発行し、情報発信に努めている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		定期的にイベントを開催し、地域住民との親睦を深めている	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		健康管理カードを活用し、定期的に見直し、更新を行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		入園時にアレルギーに関する書類の提出を保護者に依頼し、定期的に更新している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定期的に回覧し、情報共有を図っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に虐待防止チェックリストを実施し、それを基に研修会を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			